

トレンド

エプロンに関心を持つ男性が増えている。デニム生地などシンプルでおしゃれなデザインのメンズエプロンをそろえた専門店が盛況で、女性が男性へ贈る品としても人気を集めている。ラインアップが増えたことで、ファッションアイテムとして取り入れる人も。広がるメンズエプロンの世界をのぞいてみた。

「気分転換になる」と購入したのは輸入エプロン話すのは東京都杉並区のアモリコ会社員、高橋茂寛さん(東京・港)。2009年(31)。結婚を機にデニム生地のエプロンを購入し、朝食の準備や休日に催すホームパーティーで着用する。妻や友人から「エプロン姿はかっこいいと褒められる」と照れ様で話す。

2〜3カ月1度、エプロンを見に店舗に足を運ぶ。「前掛けタイプも気になる。洋服だとベアルックは抵抗があるが、エプロンなら妻とおそろいもいいかも」とエプロンを選ぶのも一つの楽しみとなっているようだ。

高橋さんがエプロンを購入したのは輸入エプロンで販売するアモリコ会社員、高橋茂寛さん(東京・港)。2009年(31)。結婚を機にデニム生地のエプロンを購入し、朝食の準備や休日に催すホームパーティーで着用する。妻や友人から「エプロン姿はかっこいいと褒められる」と照れ様で話す。

普段着でもおしゃれ

後まで増やす予定だ。が増えた背景には、俳優の速水ももちさんが担当

が、料理好きな男性に對する好感度が高まっていることがあつた。大手料理教室のABCクッキングスタジオ(東京・千代田)は14年4月、一部教室に



エプロンをファッションに取り入れた林健太さん(写真右)と三枝太郎さん(同左)

限っていた男性の受け入れを全教室に広げた。男性会員は1万人を超え、半数以上が20〜30代。同社が企画する料理合コンも盛況だ。

男性にとつて気軽な趣味や女性にもてるための武器として料理が定着したことでエプロンにこだわる人も増え始めた。男性向けファッションのコーディネートサービスを提供するライフブランディング(東京・港)の代表取締役、吉田泰則さんはエプロンを選ぶ際のコツを「男性はエプロンを着ているだけで目立つ。色や素材を着ている服に合わせるように自然に見える」と指摘する。

奇抜な柄や色だとエプロン自体が浮いてしまう。膝が隠れるほどの長い丈や裾が広がり過ぎたデザインだと着こなしが難しい。「コートを着る感覚で丈は膝上くらいだとバランスがいい。大きすぎず小さすぎず体形に合ったものだと清潔感も増す。試着して決めるのが望ましい」(吉田氏)。

エプロンをファッションアイテムとして取り入れる人も。スタートアップが2013年にサービスを開始した着こなし情報アプリ「WEAR(ウェア)」では、男性に絞って「エプロン」や「エプロンコーデ」を検索すると300件超の投稿がある。

投稿者の1人、同社デザイン部の林健太さん(31)は趣味のバーベキューがきっかけでエプロンを取り入れた着こなしを思いついた。「着たまふ歩いてても違和感なかった。ゴシゴシ洗えるしポケットがたくさん付いているなど機能性の高さも魅力」。

「人と違うアイテムを取り入れたかった」と話すのは神戸市の会社員、三枝太郎さん(24)。16年1月にファッション目

エプロン男子増殖中



デニム生地のエプロンを購入した高橋茂寛さん(左)(東京都中央区のアモリコ銀座本店)

「かっこいい」女性好感

エプロンを選ぶコツ



●奇抜なイラストや柄でエプロンが悪目立ち

●体形に合わないデザインはだらしく見える

●普段着る服に近い色や素材で自然

●体形に合ったシンプルなデザインで清潔感

海外ブランドのメンズコレクションでも登場したほか、日本人デザイナーのブランド「エンジニアード ガーメンツ」がデザインを手掛けたラーメン店「一風堂ニューヨーク店」の前掛けが話題となるなど、ファッションアイテムとしての認知度も高まっている。「スカートよりも取り入れやすく、個性を演出しやすい。レイヤード(重ね着)スタイルのアクセントにもなる」(吉田氏)。

若い世代にとって「男子厨房に入らず」はもはや死語となりつつあるが、厨房さえも飛び越えたエプロン男子を街中で見かける目が増えるかもしれない。(鷹果有希)

日経MJ

「猫の手」貸します

「猫の手も借りたい」忙しい人や職場向けに、文字通り猫の手のフィギュアをレンタルするサービス(<http://3day-printer.com/cat/>)が登場した。始めたのは、3D(3次元)プリンター出力サービスを手掛けるX人の株式会社(東京・品川)。



この猫の手はもともと商品見本として製作したものだが、「リアルでかわいい。ぜひ借りたい」という声が相次いだことからレンタルすることに。実物の約1.5倍の大きさ(全長約12cm)で、素材は石こう。色は3種類。1週間借りて1080円(消費税・送料込み)。1本1万800円で購入することも可能。ペットのそっくりフィギュアの製作も受け付ける。

いち早 Check

元祖ハイマッキー復刻

油性マーカーの定番商品として親しまれている「ハイマッキー」の今年発売40周年に当たる。それを記念して、ゼブラ(0120・555335)は発売当初のラベルデザインを施した復刻版(税別150円)を限定発売した。



1976年に発売されたハイマッキーは1本で太字と細字の両方が使える利便性が注目を集め、世界中で累計8億本以上が売れているロングセラー。そのときどきのライフスタイルに合わせて17種類が登場している。今回の復刻は発売当初のもの。品質の高さを表現するためラベルに銀色を使ったが、コストが見合わず発売1年で中止された。レトロなデザインが当時をしのばせる。